

明智光秀

十三日天下



明智光秀は、歌や絵にくわしく、学問もできる、かしこいぶしうでした。れいぎ正しく、まじめなせいかくで、織田信長のけらいとして、数おおくの戦いでかつやくしました。

光秀は町づくりの名人でもありました。丹波の国（今の京都府）の福知山では、川のはらんをふせいで、人びとにかんしゃされました。

ところが一五八二年、光秀はとつぜん、京都の本能寺にいた信長をおそいました。これが有名な「本能寺の変」です。なぜ光秀が信長を裏切ったのか、今も謎のままです。

しかし、その天下はわずか十三日でおわりました。羽柴秀吉との山崎の戦いにやぶれ、光秀の夢はきえたのです。

せんたく(1)

光秀が信長をおそったできごとは何ですか？
えらんで○をつけましょう。

- ① 桶狭間の戦い
- ② 関ヶ原の戦い
- ③ 本能寺の変

せんたく(2)

光秀を山崎の戦いでやぶったのはだれですか？
えらんで○をつけましょう。

- ① 織田信長
- ② 羽柴秀吉
- ③ 徳川家康

きじゅつ(1)

光秀が名人だったことは何でしょうか？

きじゅつ(2)

光秀の天下は何日つづいたでしょうか？

かん字

かん字に直して書きましょう。

(1) とり

(2) いと

(3) くさ

--	--	--

こたえ

明智光秀あちみつひで

せんたく

(1) ③
(2) ②

きじゅつ

(1) まちづくり
(2) じゅうさんたち

かん字

(1) 鳥とり
(2) 糸いと
(3) 草くさ